

受験番号

平成 21 年度
第 122 回 簿記 検定 試験

1 級 — I

商業簿記・会计学

(制限時間 1 時間 30 分)

(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

模範解答

(平成 21 年 6 月 14 日(日)施行)

受験
番号

--	--	--	--	--

生年月日 昭・平

第 122 回簿記検定試験答案用紙

氏名

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

商業簿記

[問 1] 平成 21 年 3 月 31 日現在の貸借対照表価額

採点欄

現金預金	資本準備金
132,512 千円	30,705 千円

[問 2]

損益計算書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

(単位：千円)

I	売上高	(451,700)
II	売上原価		
	1 期首商品棚卸高	(30,500)
	2 当期商品仕入高	(290,320)
	合計	(320,820)
	3 期末商品棚卸高	(50,320)
	合計	(270,500)
	4 (商品評価損)	(3,220)
	売上総利益	(273,720)
		(177,980)
III	販売費及び一般管理費		
	1 販売費	(34,140)
	2 一般管理費	(73,700)
	3 貸倒引当金繰入	(4,595)
	4 減価償却費	(35,826)
	5 (退職給付費用)	(230)
	営業利益	(148,491)
		(29,489)
IV	営業外収益		
	1 受取利息	(500)
	2 (為替差益)	(1,100)
		(1,600)
V	営業外費用		
	1 支払利息	(1,550)
	2 (貸倒引当金繰入)	(930)
	経常利益	(2,480)
		(28,609)
VI	特別利益		
	1 (新株予約権戻入益)	(300)
	2 ()	()
		(300)
VII	特別損失		
	1 投資有価証券評価損	(1,700)
	税引前当期純利益	(1,700)
	法人税・住民税及び事業税	(27,209)
	法人税等調整額	(11,615)
	当期純利益	(732)
		(16,326)

生年月日 昭・平 . . .
 氏名 _____

受験番号

--	--	--	--

第 122 回簿記検定試験答案用紙

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採 点 欄

第 1 問
問 1

採 点 欄

	区 分		区 分		区 分
①	イ	②	オ	③	ア
④	イ	⑤	ア・イ		

第 2 問
問 1

エ

問 2

A		3,100 千円
B	×2年3月末	12,450 千円
	×3年3月末	12,480 千円
C	×1年度 (借 または 貸)	10 千円
	×2年度 (借 または 貸)	230 千円
D	×1年度 (借 または 貸)	144 千円
	×2年度 (借 または 貸)	16 千円

第 3 問

年 度	減 価 償 却 費
×1年度	36,000 千円
×2年度	27,000 千円
×3年度	27,000 千円

商業簿記解説(単位：千円)

〔資料Ⅰ〕 再振替仕訳

一般管理費	2,140	前払費用	2,140
未払費用	1,670	販売費	1,670

〔資料Ⅱ〕 ★ 2重取引

1	現金預金	442,000	売取手形	84,400	★
			受取手形	85,600	
			売掛金	271,500	
			受取利息	500	
	仕入	55,220	現金預金	436,850	
	支払手形	95,000			
	買掛金	158,200			
	支払利息	570			
	未払法人税等	5,000			
	仮払法人税等	5,000			
	長期貸付金	10,000			
★	その他資本剰余金	50			
★	繰越利益剰余金	150			
	退職給付引当金	90			
	販売費	34,610			
	一般管理費	72,960			
2	★ 現金預金	84,400	売上	451,700	
	売掛金	304,200			
	受取手形	63,100			
3	受取手形	30,000	売掛金	30,000	
4	買掛金	32,500	支払手形	32,500	
	仕入	235,100	支払手形	43,000	
			買掛金	192,100	
5	現金預金	500	資本金	700	
	新株予約権	900	資本準備金	700	
	新株予約権	300	新株予約権戻入益	300	
	法人税等調整額	480	繰延税金資産	480	
6	車両	22,259	リース債務	22,259	
	リース債務	4,110	現金預金	5,000	
	支払利息	890			
	減価償却費	4,451	減価償却累計額	4,451	

取得原価 見積現金購入価額 23,000 > リース料総額の割引現在価値
5,000×4.4518=22,259

よって、金額の低い22,259が取得原価となる。

支払利息 22,259×4%=890.36 → 890

リース債務 5,000-890=4,110

減価償却費 22,259÷5年=4,451.8 → 4,451

7	現金預金	29,400	短期借入金	29,400
	短期借入金	2,100	為替差益	900
	前受収益	200	前受収益	1,200
	支払利息	90	為替差益	200
			未払費用	90

短期借入金 $300 \text{千円} \times @98 = 29,400$
 短期借入金の修正額 $(@91 - @98) \times 300 \text{千円} = 2,100$
 直々差額 $(@95 - @98) \times 300 \text{千円} = 900$
 直先差額 $(@91 - @95) \times 300 \text{千円} = 1,200$
 直先差額の当期割当額 $1,200 \times 1 \text{ヵ月} / 6 \text{ヵ月} = 200$
 未払費用 $(300 \text{千円} \times 4\% \times 1 \text{ヵ月} / 12 \text{ヵ月}) \times @90 = 90$

8	その他資本剰余金	55	現金預金	50	★
			資本準備金	5	
	繰越利益剰余金	55	現金預金	50	★
			利益準備金	5	
	繰越利益剰余金	110	現金預金	100	★
			利益準備金	10	

期首	1,650	回収	85,600
	31,350		
売上	63,100	貸倒	1,500
掛代金回収	30,000	期末	39,000

期首	3,500	回収	現金 271,500
	66,500		手形 30,000
売上	304,200	貸倒	2,800
		期末	69,900

期首	—	回収	0
当期貸付	10,000	期末	10,000

決済現金	31,500
95,000	掛代金支払
	32,500
期末	仕入
12,000	43,000

決済現金	43,200
158,200	仕入
手形	192,100
32,500	
期末	
44,600	

〔資料Ⅲ〕

1	仕入	30,500	繰越商品	30,500
	繰越商品	50,320	仕入	50,320
	商品評価損	3,220	繰越商品	3,220
	仕入	3,220	商品評価損	3,220
2	貸倒引当金	4,300	受取手形	1,500
			売掛金	2,800
	貸倒引当金繰入	4,595	貸倒引当金	4,595
	受取手形	$39,000 \times 5\% = 1,950$		$1,950 - (1,650 - 1,500) = 1,800$
	売掛金	$69,900 \times 5\% = 3,495$		$3,495 - (3,500 - 2,800) = 2,795$

3 貸倒引当金繰入	930		貸倒引当金	930
繰延税金資産	372		法人税等調整額	372

繰入額 $10,000 - (10,000 \times \frac{1}{(1+0.05)^2}) = 930$

繰延税金資産 $930 \times 40\% = 372$

4 減価償却費	31,375		建物減価償却累計額	4,500
			備品減価償却累計額	26,875

建物 $(150,000 - 15,000) \div 30 \text{年} = 4,500$

備品(旧) $(120,000 - 52,500) \times 0.25 = 16,875$

備品(新) $(40,000 - 20,000) \times 0.5 = 10,000 > 40,000 \times 0.06249 = 2,499.6$

よって、金額の多い10,000となる。

5 退職給付費用	230		退職給付引当金	230
----------	-----	--	---------	-----

退職給付会計用貸借対照表

年金資産	3,500	退職給付債務	4,200
	700		

退職給付会計用損益計算書

勤務費用	140	期待運用収益	30
利息費用	100		
数理計算上の差異	20		
		230	

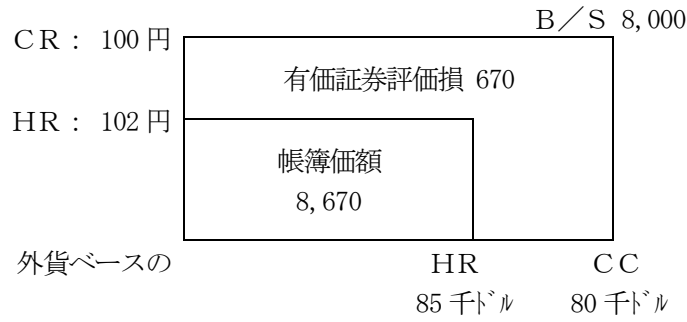
$160 \div (10 \text{年} - 2 \text{年}) = 20$

退職給付引当金

企業年金基金に対する拠出額	90	期首残高	700
期末残高	840	当期繰入額	230

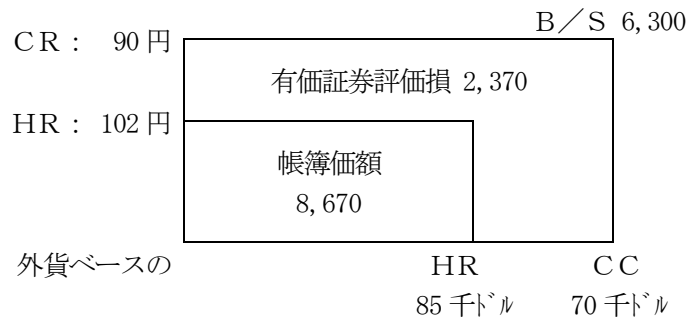
6 投資有価証券	670		投資有価証券評価損益	670
法人税等調整額	268		繰延税金資産	268
投資有価証券評価損益	2,370		投資有価証券	2,370
繰延税金資産	948		法人税等調整額	948

前期末(平成20年3月31日)



繰延税金資産 $670 \times 40\% = 268$

当期末(平成21年3月31日)



繰延税金資産 $2,370 \times 40\% = 948$

8	前払費用	1,400		一般管理費	1,400
	販売費	1,200		未払費用	1,200
9	繰延税金資産	160		法人税等調整額	160
10	法人税等	11,615		仮払法人税等	5,000
				未払法人税等	6,615

会計学解説

第2問 (単位: 千円)

×1年4月 取得時

A 社 株 式	13,000		現 金 預 金	13,000
---------	--------	--	---------	--------

×2年3月末

持分法による投資損益	310		A 社 株 式	310
------------	-----	--	---------	-----

のれん相当額

$$\{30,000 + (5,000 \times 60\%)\} \times 30\% - 13,000 = \Delta 3,100$$

のれん相当額の償却額 $3,100 \div 10 \text{年} = 310$

A 社 株 式	300		持分法による投資損益	300
---------	-----	--	------------	-----

当期純利益の振替 $1,000 \times 30\% = 300$

受 取 配 当 金	180		A 社 株 式	180
-----------	-----	--	---------	-----

受取配当金の処理 $600 \times 30\% = 180$

売 上	360		A 社 株 式	360
-----	-----	--	---------	-----

繰 延 税 金 資 産	144		法 人 税 等 調 整 額	144
-------------	-----	--	---------------	-----

未実現利益の消去 $900 \times 40\% = 360$ (全額消去)

繰延税金資産 $360 \times 40\% = 144$

×2年3月末

<開始仕訳>

利益剰余金前期末残高	406		A 社 株 式	550
------------	-----	--	---------	-----

繰 延 税 金 資 産	144			
-------------	-----	--	--	--

持分法による投資損益	310		A 社 株 式	310
------------	-----	--	---------	-----

のれん相当額

$$\{30,000 + (5,000 \times 60\%)\} \times 30\% - 13,000 = \Delta 3,100$$

のれん相当額の償却額 $3,100 \div 10 \text{年} = 310$

A 社 株 式	540		持分法による投資損益	540
---------	-----	--	------------	-----

当期純利益の振替 $1,800 \times 30\% = 540$

受 取 配 当 金	240		A 社 株 式	240
-----------	-----	--	---------	-----

受取配当金の処理 $800 \times 30\% = 240$

期首商品(実現仕訳)

A 社 株 式	360		売 上	360
---------	-----	--	-----	-----

法 人 税 等 調 整 額	144		繰 延 税 金 資 産	144
---------------	-----	--	-------------	-----

期末商品

売 上	320		A 社 株 式	320
-----	-----	--	---------	-----

繰 延 税 金 資 産	128		法 人 税 等 調 整 額	128
-------------	-----	--	---------------	-----

未実現利益の消去 $800 \times 40\% = 320$ (全額消去)

繰延税金資産 $320 \times 40\% = 128$

第3問 (単位：千円)

1. ×1年度

$$\text{見込販売数量} \quad 90,000 \times \frac{16,000 \text{ 個}}{16,000 \text{ 個} + 11,000 \text{ 個} + 13,000 \text{ 個}} = 36,000$$

$$\text{定額法} \quad 90,000 \div 3 \text{ 年} = 30,000$$

$$\text{見込販売数量 } 36,000 > \text{定額法 } 30,000 \quad \therefore \text{多い金額 } 36,000$$

2. ×2年度

$$\text{見込販売数量} \quad (90,000 - 36,000) \times \frac{11,000 \text{ 個}}{11,000 \text{ 個} + 13,000 \text{ 個}} = 24,750$$

$$\text{定額法} \quad 54,000 \div 2 \text{ 年} = 27,000$$

$$\text{見込販売数量 } 24,750 < \text{定額法 } 27,000 \quad \therefore \text{多い金額 } 27,000$$

3. ×3年度

$$\text{残額} \quad 90,000 - (36,000 + 27,000) = 27,000$$

受験番号

平成 21 年 度
第 122 回 簿 記 検 定 試 験

1 級 一 II

工業簿記・原価計算

(制限時間 1 時間 30 分)
(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 21 年 6 月 14 日(日)施行)

模
範
解
答

受験
番号

第 122 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ③

氏名

工業簿記

予定損益計算書 (単位：千円)

	7 月	8 月
売上高	(225,000)	(202,500)
売上原価	(165,800)	(152,500)
売上総利益	(59,200)	(50,000)
販売費・一般管理費	(36,400)	(35,800)
営業利益	(22,800)	(14,200)
支払利息	(650)	(250)
経常利益	(22,150)	(13,950)
固定資産売却損益	(△2,000)	(-)
税引前当期純利益	(20,150)	(13,950)
法人税等	(8,060)	(5,580)
当期純利益	(12,090)	(8,370)

採点欄

(注) 固定資産売却損益は、売却損の場合、金額の前に△をつけること。

予定貸借対照表 (単位：千円)

	7 月	8 月
流動資産		
現金	(32,160)	(42,840)
売掛金	(90,000)	(81,000)
製品	(29,700)	(29,700)
原料	(22,500)	(23,000)
小計	(174,360)	(176,540)
固定資産		
土地	(412,570)	(412,570)
建物・設備	(1,448,000)	(1,448,000)
減価償却累計額	(△277,980)	(△291,510)
小計	(1,582,590)	(1,569,060)
合計	(1,756,950)	(1,745,600)
流動負債		
買掛金	(9,400)	(9,100)
借入金	(25,000)	(0)
未払法人税等	(16,080)	(21,660)
小計	(50,480)	(30,760)
固定負債	(0)	(0)
株主資本		
資本金	(1,200,000)	(1,200,000)
資本剰余金	(200,000)	(200,000)
利益剰余金	(306,470)	(314,840)
小計	(1,706,470)	(1,714,840)
合計	(1,756,950)	(1,745,600)

生年月日 昭・平 . . .
氏名

第 122 回簿記検定試験答案用紙

受験
番号

1 級 ④

原 価 計 算

試験地 (会議所名)	採点欄

採点欄

問 1

△ 24,000,000 円

採点欄 (ダミー)

問 2

10,260,000 円

問 3

2,400,000 円

問 4

14,355,414 円

採点欄 (ダミー)

問 5

△ 8,400,000 円

問 6

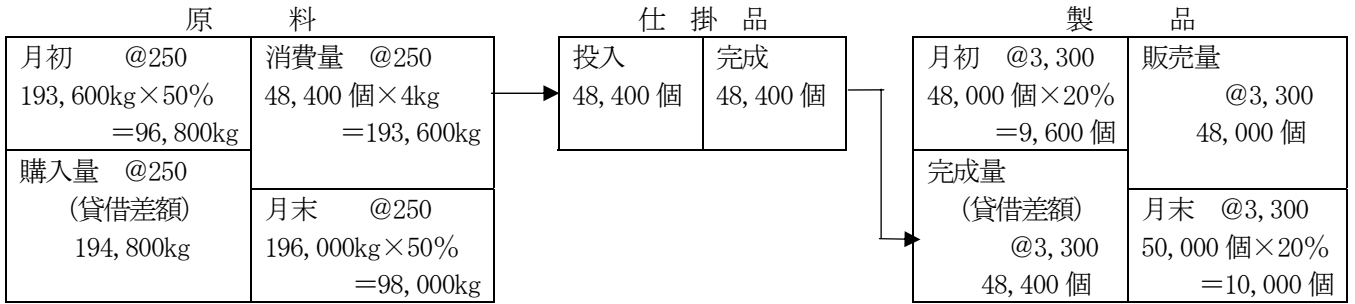
5,760,000 円

問 7

11,530,764 円

工業簿記解説

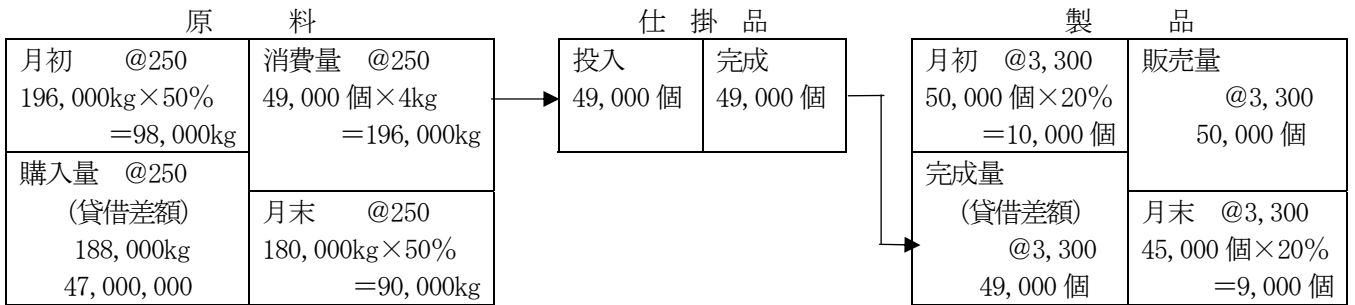
< 6月 >



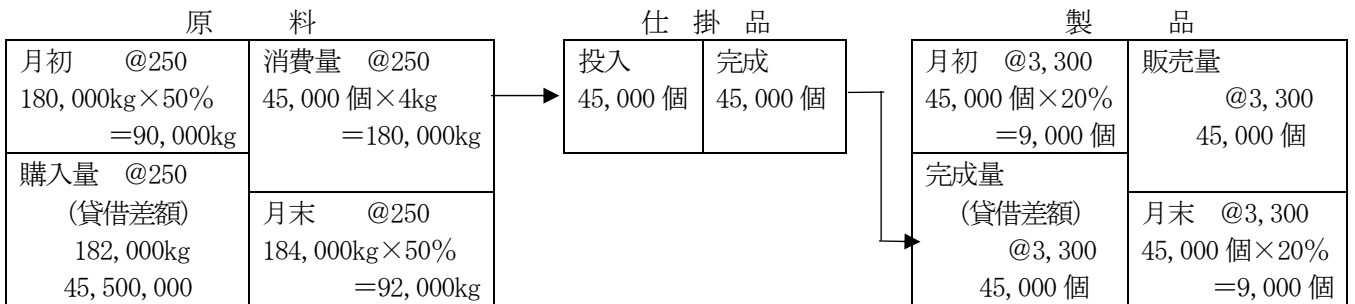
6月の販売数量

売掛金 $86,400,000 \div (4,500 \text{円} \times 40\%) = 48,000 \text{個}$

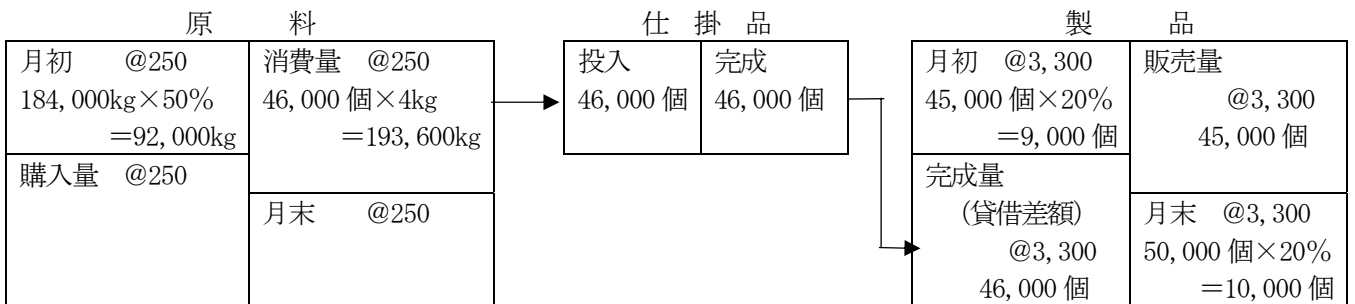
< 7月 >



< 8月 >



< 9月 >



(単位：千円)

	7月	8月
月初残高	32,000	32,160
収入：		
現金売上	135,000	121,500
売掛金回収	86,400	90,000
設備売却代金	2,980	—
合計	256,380	243,660
支出：		
原料購入代金	47,200	45,800
給与	75,000	45,000
諸経費	61,370	84,770
支払利息	650	250
差引	72,160	67,840
借入額	—	—
借入金返済額	40,000	25,000
月末残高	32,160	42,840
8月給与	45,000個×1h×@1,000円=45,000	
諸経費	製造間接費{45,000個×1h×@500円+(40,000-9,150)} +販売費・一般管理費{45,000個×@120円+(30,400-4,380)}=84,770	

予想損益計算書

<7月>(単位：千円)

売上高	@4,500×50,000個=	225,000
売上原価	@3,300×50,000個=	165,000
操業度差異	(49,000h-50,000h)×@800=	800 (不利)
売上原価計		165,800
販売費・一般管理費	@120×50,000個+30,400=	36,400
支払利息	65,000×1%=	650
製造間接費	実際操業度 49,000個×1h=49,000h 基準操業度 40,000千円÷@800=50,000h	
設備の売却		
現金預金	2,980	設備 12,000
減価償却累計額	6,480	
減価償却費	540	
固定資産売却損	2,000	
減価償却累計額	(12,000-1,200)÷5年×3年=6,480	
減価償却費	(12,000-1,200)÷5年×3ヵ月/12ヶ月=540	
法人税等	税引前当期純利益 20,150×40%=8,060	

<8月>(単位：千円)

売上高	@4,500×45,000個=	202,500
売上原価	@3,300×45,000個=	148,500
操業度差異	(45,000h-50,000h)×@800=	4,000 (不利)
売上原価計		152,500
販売費・一般管理費	@120×45,000個+30,400=	35,800
支払利息	25,000×1%=	250
製造間接費	実際操業度 45,000個×1h=45,000h 基準操業度 40,000千円÷@800=50,000h	
法人税等	税引前当期純利益 13,950×40%=5,580	

予想貸借対照表

< 7月 > (単位: 千円)

売掛金	月初残高	86,400			
	当月売上高				
	現金預金 (60%)	135,000	売	上	225,000
	売掛金 (40%)	90,000			
	前月分売掛金回収高				
	現金預金	86,400	売	掛	金
	月末残高	90,000			86,400
製品	@3,300×9,000個=	29,700			
原料	@250×90,000kg=	22,500			
建物・設備	1,460,000-12,000(売却高)=	1,448,000			
減価償却累計額	271,470+{9,150+4,380(減価償却費)}				-{6,480+540(売却分)}=277,980
買掛金	月初残高	9,600			
	当月原料購入高				
	原料	47,000	現	金	預
			買	掛	金
					(80%) 37,600
					(20%) 9,400
	前月分買掛金支払高				
	買掛金	9,600	現	金	預
	月末残高	9,400			金
					9,600
借入金	65,000-40,000=	25,000			
未払法人税等	8,020+8,060=	16,080			
利益剰余金	294,380+12,090=	306,470			

< 8月 > (単位: 千円)

売掛金	月初残高	90,000			
	当月売上高				
	現金預金 (60%)	121,500	売	上	202,500
	売掛金 (40%)	81,000			
	前月分売掛金回収高				
	現金預金	90,000	売	掛	金
	月末残高	81,000			90,000
製品	@3,300×9,000個=	29,700			
原料	@250×92,000kg=	23,000			
建物・設備	1,448,000				
減価償却累計額	277,980+{9,150+4,380(減価償却費)}				=291,510
買掛金	月初残高	9,400			
	当月原料購入高				
	原料	45,500	現	金	預
			買	掛	金
					(80%) 36,400
					(20%) 9,100
	前月分買掛金支払高				
	買掛金	9,400	現	金	預
	月末残高	9,100			金
					9,400
借入金	25,000-25,000=	0			
未払法人税等	16,080+5,580=	21,660			
利益剰余金	306,470+8,370=	314,840			

原価計算解説 (単位：千円)

- 問1 $\triangle 24,000,000 - 0 = \triangle 24,000,000$
- 問2 $+21,060,000 - +10,800,000 = +10,260,000$
- 問3 $+5,400,000 - +3,000,000 = +2,400,000$
- 問4 $+55,119,234 - +40,763,820 = +14,355,414$
- 問5 $\triangle 8,400,000 - 0 = \triangle 8,400,000$
- 問6 $+16,560,000 - +10,800,000 = +5,760,000$
- 問7 $+52,294,584 - +40,763,820 = +11,530,764$

問1～問4 (単位：円)

現有設備のみを使い続けるという現状維持案

	現在 (2008年度末)	1年後 (2009年度末)	2年後 (2010年度末)	3年後 (2011年度末)	4年後 (2012年度末)
in	① 50,000,000	① 50,000,000	① 50,000,000	① 50,000,000	④ 3,000,000
out	② 35,000,000	② 35,000,000	② 35,000,000	② 35,000,000	② 35,000,000
	③ 4,200,000	③ 4,200,000	③ 4,200,000	③ 4,200,000	③ 4,200,000
		+ 10,800,000	+ 10,800,000	+ 10,800,000	+ 13,800,000

現在		0円
1年後～4年後	$+ 10,800,000 \times 3.5459 =$	+ 38,295,720円
4年後	$+ 3,000,000 \times 0.8227 =$	+ 2,468,100円
正味現在価値		<u>+ 40,763,820円</u>

年金現価係数： $0.9524 + 0.9070 + 0.8638 + 0.8227 = 3.5459$

- ① 売上高 $10,000 \text{個} \times @5,000 = 50,000,000$
- ② 変動費 $10,000 \text{個} \times @3,500 = 35,000,000$

③法人税等の支払額

売上高	50,000,000
変動費	35,000,000
減価償却費	<u>4,500,000</u>
税引前当期純利益	10,500,000
法人税等	<u>4,200,000</u>
税引後当期純利益	<u>6,300,000</u>

減価償却費 $(30,000,000 - 3,000,000) \div 6 \text{年} = 4,500,000$

④ 4年後の売却

現金預金	3,000,000	設	備	30,000,000
減価償却累計額	27,000,000			

現有設備を維持したまま 2008 年度末に新設備を導入するという案

	現在 (2008 年度末)	1 年後 (2009 年度末)	2 年後 (2010 年度末)	3 年後 (2011 年度末)	4 年後 (2012 年度末)
in		② 75,000,000	② 75,000,000	② 75,000,000	② 75,000,000
out	① 24,000,000	③ 46,500,000	③ 46,500,000	③ 46,500,000	③ 46,500,000
		④ 7,440,000	④ 7,440,000	④ 7,440,000	④ 7,440,000
	△ 24,000,000	+ 21,060,000	+ 21,060,000	+ 21,060,000	+ 26,460,000

現在		△ 24,000,000 円
1 年後～4 年後	+ 21,060,000 × 3.5459 =	+ 74,676,654 円
4 年後	+ 5,400,000 × 0.8227 =	+ 4,442,580 円
正味現在価値		<u>+ 55,119,234 円</u>

年金現価係数 : 0.9524 + 0.9070 + 0.8638 + 0.8227 = 3.5459

製品1個あたりの	現有設備	新設備
売上高	5,000	5,000
減価償却費の法人税節約額	180	216
変動費	△ 3,500	△ 3,000
キャッシュ・フロー	<u>1,680</u>	<u>2,216</u>

減価償却費の法人税節約額

現有設備 (30,000,000 - 3,000,000) ÷ 6年 × 40% = 1,800,000

新設備 (24,000,000 - 2,400,000) ÷ 4年 × 40% = 2,160,000

よって、製品1個あたりのキャッシュ・フローの高い新設備を優先して生産する。

新設備 12,000個 現有設備 3,000個

- ① 新設備の取得原価
- ② 売上高 15,000個 × @5,000 = 75,000,000
- ③ 変動費 (12,000個 × @3,000) + (3,000個 × @3,500) = 46,500,000
- ④ 法人税等の支払額

売上高	75,000,000
変動費	46,500,000
減価償却費	<u>9,900,000</u>
税引前当期純利益	18,600,000
法人税等	<u>7,440,000</u>
税引後当期純利益	<u>11,160,000</u>

減価償却費 現有設備 (30,000,000 - 3,000,000) ÷ 6年 = 4,500,000

新設備 (24,000,000 - 2,400,000) ÷ 4年 = 5,400,000

- ⑤ 4年後の現有設備の売却

現金預金	3,000,000	設	備	30,000,000
減価償却累計額	27,000,000			
4年後の新設備の売却				
現金預金	2,400,000	設	備	24,000,000
減価償却累計額	21,600,000			

